



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S  
**The Y's Men's Club of Kanazawa**  
 CHARTERED JULY 9, 1947  
 c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「一つとなる力」	“The Power of One”
アジア地域会長主題	「一つとなる力」	“The Power of One”
西日本区理事主題	「すべてのいのちを大切に」	“Love & Care for All the Living Things”
中部部長主題	「ワイズの理念を胸に自信を持って活動しよう」	
金沢クラブ会長主題	「クラブの活性化に努める」	

# 1 月間強調

# I B C - D B C

2010

## 今月の聖句

兄弟たち、わたし自身は既に捕らえられたとは思っていません。  
 なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を  
 向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えに  
 なる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。  
 フィリピの信徒への手紙 3章 13～14節

## 1月強調月間

BC との交流プログラムを企画し実施し  
 よう！連絡の BC との交流を再開しワイズの  
 輪を国の内外に広げよう！  
 交流事業主任 谷本秀康  
 (東広島クラブ)

## 1月例会 プログラム

と き	2010年1月21日 (木) 18:30～20:30
と ころ	金沢ニューグランドホテル
	司会 山谷 澄君
開 会 ・ 点 鐘	数 澤 会 長
主 題	司 会 者
ワイズ・ソング	一 同
今月の聖句	司 会 者
ハッピー・バースデー	数 澤 会 長
スピーカー紹介	山 谷 澄 君
食前の感謝	幸 正 一 誠 君
~~~~~ 会 食 ~~~~~	
ス ピ ー チ	北 肇 夫 氏
	「高速道路を楽しく走るためのABC」
委員会報告	各 委 員
ニコニコタイム	影 山 雅 一 君
Y M C A の 歌	一 同
閉 会 ・ 点 鐘	数 澤 会 長

## 12月 クラブ活動状況

<b>第1例会</b> (12月17日 Thu.)
メ ン：伊藤、影山、数澤、幸正、高口、澁谷、 山内、山谷 (8名)
出席率：88.9%
メネット：伊藤、数澤、高口、澁谷、山内、山谷 (6名)
マゴメット：山田、川原 (2名)
ゲスト：阿部、朝倉、平口、高夫妻、前田、吉田
広義会員・功労会員：なし
<b>第2例会</b> (12月1日 Tue.)
メ ン：伊藤、数澤、澁谷、山内
メネット：山内
<b>ニコニコタイム</b> 11,500円
クラブファンド 累計 64,000円
<b>B F ポイント</b>
切手 0 kg 累計 0 kg
現金 0円 累計 0円

会 長	数澤 輝夫	書 記	幸正 一誠
副 会 長	山内 健司	会 計	澁谷洋太郎
	高口 昇	メネット会長	山内ミハル
直前会長	伊藤 仁信		

第一例会：毎月第三木曜日 18:30～20:30
金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
第二例会：毎月1日 18:30～20:00
金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

山谷 澄

天平宝字3年(759)正月1日、因幡国庁で国郡の役人たちと共に、朝拝をし、その後公式の賜宴の席で、国司の相伴家持が詠んだ歌が万葉集の結びである。

新しき年の始の初春の

今日降る雪のいやしけ吉事

新年乃始乃 波都波流能

家布敷流由伎能 伊夜之家余其騰

※あたらしきと読む。あらためて、年があらたまりなど。あたらしいというのは惜しいということで平安末ごろから混同した。

いやしけ 益々重たれ

平成21年(2009)はその時から1250年が経つ。この記念の年に向けて、いまを生きる私たちの思いや、次の世代に伝えたい文化や風習、自然などを詠んだ短歌を募集するという記事が、平成20年の夏頃に新聞や短歌誌に発表された。私も応募した。

年が明けて平成21年3月に数回にわたる選考を経て、私の歌が最終候補に残っているという知らせがきた。そして最終選考に臨む前に確認をさせていただき、住所、氏名、年齢、性別、職業、応募の歌をいつつくったのか、重複して他に投稿しなかったかなど尋ねてきた。

それから一ヶ月ほどして「平成万葉集」に入選したという知らせが届いた。国内外から四万六千首の応募があったという。

読売新聞4月29日の朝刊で発表された。表彰式はしないが、7月に刊行する「平成万葉集」を1冊贈呈するというのであった。

7月に立派に装丁された本が届いた。

私の短歌も載っている。

「疵のある兼六園の松の木は

戦時に脂を採りしあとなり」

山谷 澄 78 金沢市

### 北 肇氏 プロフィール

1941年3月生まれ。金沢市出身。東京農業大学農学部卒。1965年4月 日本道路公団 入社 (この間、本州四国連絡橋公団へ出向)。1993年2月 北陸道路エンジニア(株) 入社。2007年3月 同 退社

ワイズ歴：1993年6月 金沢犀川ワイズメンズクラブ (チャーターメンバー)

日本基督教団金沢教会

伝道師 阿部倫太郎

「クリスマスおめでとうございます」「メリークリスマス」とのあいさつを、私たちはこれまでに何度してきたのでしょうか。何度祝っても、何度挨拶しても、色褪せることのないクリスマスの喜び。私たちは今、このクリスマスの喜びの中に招かれています。

御存知のとおり、クリスマスは主イエス・キリストが私たちに与えられたことをお祝いする時です。この暗い世の中に光が与えられたことを祝う時です。聖書に記されているクリスマスの物語を見ましても、クリスマスの出来事に“光”のモチーフが出てきます。マタイ福音書に登場する東方の博士たちは“輝く星”を追う旅をしました。ルカ福音書に登場する羊飼いは栄光に輝く“主の天使”に喜びの知らせを告げられました。暗い世に光が与えられた、このことがクリスマスの出来事の象徴です。



さて、私たちの時代はどうでしょうか。表面的に見れば、科学や文明が目覚ましく発展したおかげで、私たちの生活は便利になり、明るい時代にあるとも言えます。蛇口をひねれば水が出る。夜になれば電気がつく。寒い時は暖房があり、暑い時は冷房がある。クリスマスを祝う12月にもなれば、街中がクリスマスのイルミネーションで鮮やかに輝きます。このような時代の中であって、私たちは見失ってはいけぬ光を見失っているのではないのでしょうか。世の中の表面的が明るさにゆえに、本当の光、キリストの光を見失ってしまっているのではないのでしょうか。

光を見失ってしまう人間の姿が、マタイ福音書のクリスマスの物語に記されています。2節に「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか」と、あります。東方の博士たちは旅の途中で追っていた星を見失ってしまったのです。ここに、人間の

思いだけではどうすることもできないクリスマスの出来事が示されます。星が示すところに生まれる王様を一目見て拝みたい、という強い人間の思いを前に、星は博士たちの前からその姿を隠したのです。博士たちが星を見出したのではない。星が博士たちに示されたのです。博士たちが星を追ってきたのではない。星が博士たちを導いたのです。クリスマスの出来事は神の出来事なのです。

9節に「彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった」と、あります。星が先立って進んだのです。人間の思いより、神の思いが先立って進むのです。星を追うという人間の業によってクリスマスの出来事が示されるのではなく、星が人間を導く、つまり、神の業によってクリスマスの出来事は起こされたのです。再び“星”を見つけた博士たちは喜びにあふれました。星が現れたこと、御心が示されたことに喜びを覚えたのです。クリスマスは私たちの心を喜びで満たして下さる、それも神の思いによる喜びで満たされるのです。クリスマスは光であり、私たちは心を神さまの喜びで満たされます。同時に、クリスマスの出来事によって福音が動き始めるのです。幼子イエスを礼拝しに来た羊飼い達も東方の博士たちも、それぞれの場所へと戻って行きました。帰ったのです。ただ、帰ったではありません。その心に福音を携えて帰ったのです。福音の風に吹かれて、帰路に就いたのです。福音は止まりません。一人ひとりの心に止まって終わりではなく、その心を、その人を突き動かすのです。このクリスマスの喜びによって福音の風が起こされ、このクリスマスの喜びに与った者はその福音の風に押し出され、次なる人へと、隣人へと、その福音を伝えるのです。今、私たちにも福音の風が吹いています。クリスマスの喜びに与った私たちは、その喜びを自分の心の中で留めるのではなく、風に乗る、この喜び、この福音を運ぶのです。だからこそ、「クリスマスおめでとう」「メリークリスマス」とのあいさつは色褪せることがない



のです。次なる人に福音の風が吹くからです。私たちには見失ってはならない本当の光があります。イエス・キリストの命の光です。この光を見つめつつ、この喜びの時を過ごしましょう。



~~~~~お知らせ~~~~~

#### ☆滋賀蒲生野クラブ 20周年記念例会

日 時 2010年3月7日(日) 11:00~14:30

場 所 ホテルニューオウミ

(JR琵琶湖線近江八幡駅から徒歩3分)

登録費 10,000円

申込締切 2010年2月7日(日)

#### ☆第13回西日本区大会

日 時 2010年6月12日(土)~13日(日)

場 所 広島国際会議場・リーガロイヤルホテル

登録料 20,000円

#### ☆周年記念例会のお知らせ

2010年2月20日(土) 11:30~15:00

神戸クラブ 80周年

2010年2月20日(土) 16:00~19:30

京都エイブルクラブ 20周年

#### ☆第69回ワイズメンズクラブ国際協会・国際大会

日 時 2010年8月5日(木)~8日(日)

場 所 パシフィコ横浜(横浜市)

テーマ 「いのち」未来への継承

—私たちの地球のために—

#### ☆お願い

##### ①1月例会で集めます

・TOF 1,700円、FF 800円、合計2,500円

(担当:高口君)

##### ②2月例会で集めます

・CS 1,500円、BF 1,650円、合計3,150円

(担当:高口君、山谷君)

## ~~~~~ YMCA だより ~~~~~

### ☆早天祈祷会

日時：2月1日（月）6:00~7:00

場所：金沢 YMCA 集会室

### ☆ユニセフ街頭募金

日時：12月23日（水・祝）13:30

参加者：金沢クラブ4名 金沢犀川クラブ3名

募金額：10,452円

### ☆ゆきんこキャンプ（スキーキャンプ）

日時：2月

場所：未定

### Happy birthday

メネット 山内ミハルさん 1月10日

草野 敬子さん 1月13日

### 2月の担当

2月ブリテン執筆：伊藤 仁信君

山谷 明代メネット

2月卓話担当：伊藤 仁信君

原稿は1月20日までに編集委員まで提出下さい

## 金沢クラブ メネット報

### 「私が生きていた証」を求めて

最近、大人向けの絵本が出版され、静かなブームをよんでいるようです。そんなこととは知らずに、2年ほど前、孫たちにかつてやった絵本「きりかぶ」は、子どもよりも、私が読んで非常に影響を受けました。作者は なかや みわさん。

としとって きられて  
きりかぶに なった  
わたしも みんなを  
よろこばせることが  
できるのかな……

というカバーの見出し文に引かれて、ふと買って読んでみたくなったのです。

概略を紹介しますと、

いっぼんの きが ありました。

きれいな はなを さかせては、みんなをよろこばせ、あおあおとした はっぱを つけては、こかげをつくり、あめが ふったら、あまやどりの やねになり、きは みんなの やくに たって きました。

でも、きは やがて としをとると、

きられることになりました。

きは きょうから きりかぶになりました。



もう、はなを さかせることも

はっぱを つけることもできなくなりました。

「すっかり やくたたずになってしまったなあ……」

可愛い絵とともに話は続きます。しょんぼりしていると、ウサギの兄弟がやってきて、きりかぶをコマ回しの台にして楽しく遊び始めました。次に子リスがやってきてテーブルにしてお茶会を始めました。こん

どは蟻が、葉っぱをつり下げてブランコに、ネズミは縄跳びの相手に、旅の途中のハリネズミは腰掛けてひと休み、最後にネズミのおばあさんに「孫娘のために力になってほしい。あなたにしかできないことなのです」といわれ、やくたたずになってしまったのに、自分にしかできないことって何だろうと不思議に思っていると、ネズミたちがたくさんの花を運んできて飾り付け、素敵な結婚式のステージになったのです。



「わたしは ちっとも やくたたずじゃない。

これからは きりかぶとして

みんなを よろこばせよう」

きりかぶは そう おもうようになりました。

というお話しです。

ここ2、3年、何かを頼まれると、必ず、「もう年ですから……」と、辞退はするのですが、その度にこの絵本が思い出されるのです。そしてついつい「わたしで役に立つのならば……」と引き受けて、忙しい思いをしている今日この頃です。

これからも、それがたとえ価値のないことであっても、できるだけわたしにしかできないことを見つけて、少しでも役に立っていきたくと思います。そのことがわたしの生きていた証になるのかなと、思うのですが……。  
(山内ミハル 記)